

# BeoLab 9

## 取扱説明書



**警告:**火災や感電を避けるため、この製品を雨の中にさらしたり、極端に湿度の高い場所で使用することは絶対にやめてください。水が垂れ落ちてくる可能性がある場所での使用や、花瓶など水を含んだ容器類をこの製品の上に置くことも、絶対にやめてください。

この製品と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

# 目次

この説明書には、スピーカーを設置して使用可能とするための方法が、解説されています。スピーカーを初めて設置する時はもちろん、移動して設置し直す時なども、必ずお読みください。

この説明書の指示に従って、ていねいに設置を進めてください。

## **毎日の使用にあたって 4**

スピーカーの使い方、内蔵されている保護回路、クリーニングの方法について説明します。

## **スピーカーを設置する前に 5**

実際の設置に取りかかる前に、必要となる手順を確認します。

## **ケーブルの接続 6**

各端子、スイッチ、ケーブル類と、システムへの接続方法について説明します。

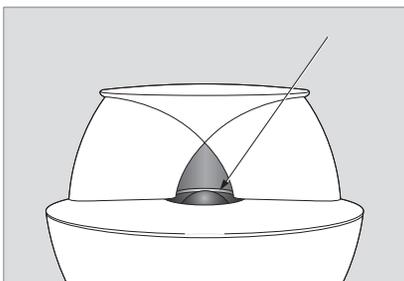
## **スピーカーを部屋に適合させる 8**

室内の設置場所に応じ、スピーカーからの低音再生の強さを調整する方法について説明します。

## 毎日の使用にあたって

次ページ以下の説明に従って、スピーカーの設置を終えたら、システム全体を電源に接続します。スピーカーのインジケータライトが赤く点灯し、いつでも演奏可能なスタンバイ状態になったことを示します。

このスピーカーは、使っていない時も、常にスタンバイ状態のままにしておいてください。



インジケータライトは、Acoustic Lens 内で露出している振動膜のすぐ後ろに配置されています。

### スピーカーのオン/オフ

システムがオンになると、スピーカーも自動的にオンとなり、インジケータライトが緑色に変わります。システムをオフにすると、スピーカーもスタンバイ状態に戻ります。

### お手入れの方法

本体についたホコリは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。油污れやしつこい汚れを落とす時は、けばのない布をぬるま湯に浸し、よく絞ってから使用してください。

Acoustic Lens 内で露出している振動膜のクリーニングに、掃除機は絶対に使わないでください。布製フロントパネルは、掃除機でもクリーニングできますが、その場合はブラシノズルを使い、吸引力を最小に設定してください。

このスピーカーに、アルコールやシンナーなどの溶剤は、絶対に使わないでください。

### スピーカーの保護回路について

それぞれのスピーカーには、オーバーヒートによる損傷を防ぐための、熱保護回路が内蔵されています。もしも、故障が起きたりスピーカーユニットが過熱した場合は、この回路が自動的にスピーカーをスタンバイ状態へ戻し、インジケータライトを黄色く点灯させます。

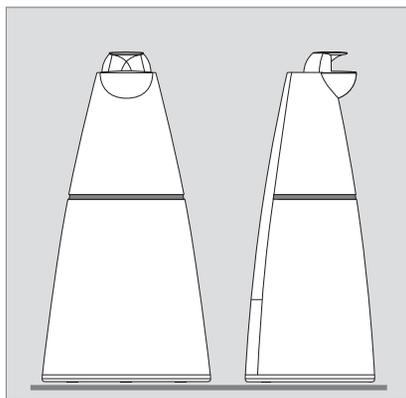
### 演奏を再開するには:

- > スピーカーの電源ケーブルを、コンセントから抜きます。
- > システムがリセットされる、または冷えるまで、3分から5分ほど待ちます。
- > スピーカーを、再び電源に接続します。

もし、同じ症状が繰り返されるようであれば、お買い求めになった Bang & Olufsen ストアにご連絡ください。

スピーカーの設置は、次の手順で行なっていきます。

- システム全体の電源を抜く。
- システムにスピーカーを接続し、スピーカー側の LINE-RIGHT-LEFT スイッチを、6-7ページの“ケーブルの接続”に従ってセットする。
- スピーカー側の FREE-WALL-CORNER スイッチを、8-9 ページの“スピーカーを部屋に適合させる”に従ってセットする。
- システム全体を、再び電源につなぐ。



このスピーカーは、平らで安定した面に、まっすぐ立てて使うよう設計されています。

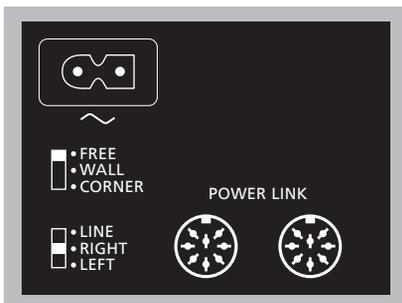
## 警告

- このガイドに説明されている通りの手順で、接続と設置を行なってください。Bang & Olufsen 製の専用スタンドおよび専用ブラケット以外の製品は、絶対に使わないでください。
- このスピーカーを完全にオフにするには、電源から切り離す必要があります。抜き差ししやすい位置にあるコンセントを選び、電源ケーブルを接続してください。
- 専門のサービス員ではない方が、このスピーカーを分解することは絶対にやめてください。
- このスピーカーは、一般家庭の室内で使うよう設計されています。通常の湿度と、摂氏 10 度から 40 度の温度が保てる環境でお使いください。
- 最良の再生音質を得るため、このスピーカーを密閉された狭い場所に設置することは避けてください。また、スピーカーのすぐ前に物を置かないようにしてください。
- スピーカーの正面を、リスニングポジションに向け設置してください。

## ケーブルの接続

このスピーカーは、Bang & Olufsen 製のオーディオビジュアルシステム、およびリンクシステムで使用できます。また、Bang & Olufsen 以外の製品と接続することもできます。

システム側の端子類については、システムに付属している取扱説明書をご覧ください。



端子類と 2 個のスイッチは、スピーカー後部の接続パネルに設けられています。接続パネルには、カバーがつけられています。

### 接続パネル

#### FREE-WALL-CORNER スイッチ

3 つのうちから、いずれかを選びます。どれを選ぶかは、スピーカーを設置する場所によって決まります。8-9 ページの「スピーカーを部屋に適合させる」をご覧ください。

#### LINE-RIGHT-LEFT スイッチ

3 つのうちから、いずれかを選びます。Bang & Olufsen 製システムと接続する場合は、RIGHT または LEFT にセットします。Bang & Olufsen 以外のシステムと接続する場合は、LINE にセットします。

#### POWER LINK 端子

この 2 つの端子は、Bang & Olufsen 製システムとの接続用です。Bang & Olufsen 以外のシステムに接続する場合は、LINE-RIGHT-LEFT スイッチを LINE にセットして、2 つある Power Link 端子のどちらかをシステムと接続します。

~

電源ケーブル用のソケットです。

### Bang & Olufsen 製システムへの接続

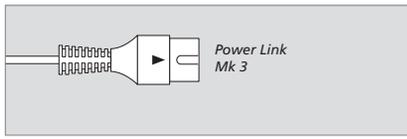
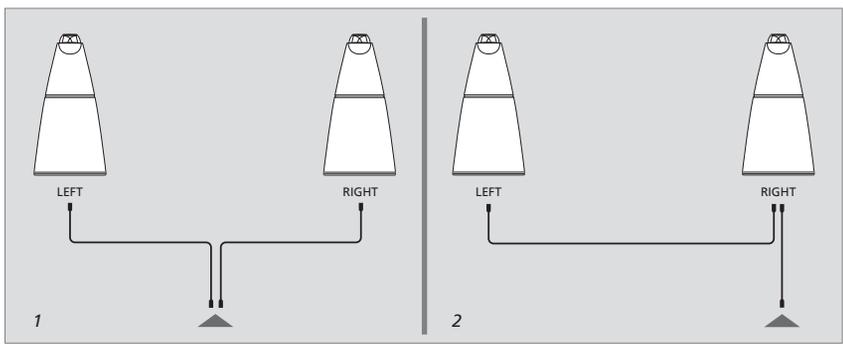
Bang & Olufsen の Power Link ケーブルを使い、スピーカーをシステムに接続します。

LINE-RIGHT-LEFT スイッチを、RIGHT (右チャンネルとして使用) または LEFT (左チャンネルとして使用) のどちらかにセットします。

### Bang & Olufsen 以外のシステムへの接続

片側が通常のフォノ(RCA)プラグ、反対側が DIN プラグとなっている特製の別売アダプターを使います。このアダプターは、お近くの Bang & Olufsen ストアで取り扱っています。

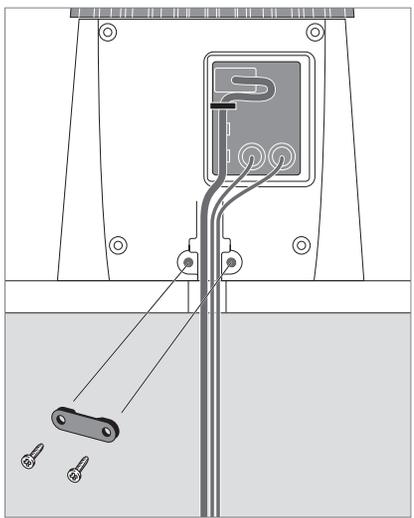
LINE-RIGHT-LEFT スイッチを、LINE にセットします。



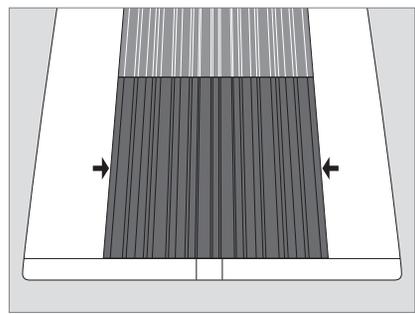
**Power Link ケーブル:** プラグの先端部分に、三角形のマークが入っている最新の製品を使ってください。古いタイプのPower Linkケーブルは、ノイズによって最良の再生音が得られない可能性があるため、使わないでください。

**Power Link 接続:** 1つの端子と1本のケーブルが、左右両チャンネルの信号を伝達する接続方式なので;

- 1 Bang & Olufsen 製システムと左右のスピーカーを、2本の別々の Power Link ケーブルで接続できます。
- あるいは
- 2 Bang & Olufsen 製システムと1本目のスピーカーを Power Link ケーブルでつなぎ、そのスピーカーと 2本目のスピーカーを、別の Power Link ケーブルで接続できます。ケーブルの処理が、より簡単になります。



**ケーブルの固定:** 安全上の理由から、電源ケーブルはスピーカー本体に固定しなければなりません。まず、接続パネル内の小さなケーブル受けの下に、電源ケーブルを通します。それから、全ケーブルの上にクランプをかぶせ、2本のねじで固定します。



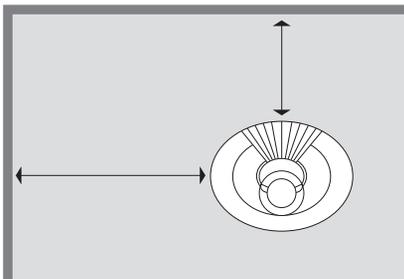
**接続パネルのカバー:** 上の図で示されているように、左右から軽くつかめばカバーは外れます。

すべての接続とケーブル処理が終わったら、カバーを元に戻します。カバーの裏にある4つの突起を、スピーカー本体側の対応する穴にはめてください。

## スピーカーを部屋に適合させる

このスピーカーは、基本的に、部屋の中のどこにでも置くことができます。この章では、設置した場所ごとに、最も自然なサウンドを得るための方法を説明します。

各スピーカーから直接聞こえてくる高域の音と、室内の壁などに反射した高域の音については、Acoustic Lens Technology システムが常に良好なバランスを保ちます。このシステムは、スピーカーの正面部分でも、正確な音響バランスを確保します。



壁とスピーカーの距離: このページに書かれている距離は、左図のように測定されています(スピーカーを真上から見ています)。

### FREE-WALL-CORNER スイッチ

壁のすぐ前や部屋のコーナーに置かれたスピーカーは、広い空間の中央に置かれたスピーカーに比べ、音量は同じでも低音がやや強調された再生を行ないます。

この過剰な低音を調整し、設置場所に応じた適切な低音再生を行なうのが、FREE-WALL-CORNER スイッチです。どこにスイッチをセットするかは、壁から、または部屋のコーナーから、スピーカーがどれほど離れているかによって決まります。

このページの説明と次ページのイラストを参考に、それぞれのスピーカーの FREE-WALL-CORNER スイッチを、最適な位置にセットしてください。

### FREE

スピーカーが壁から 20cm 以上、コーナーから 65cm 以上離れている場合は、FREE にセットします。次ページのイラストで、薄い灰色で塗られたいちばん広い部分が、これに該当します。

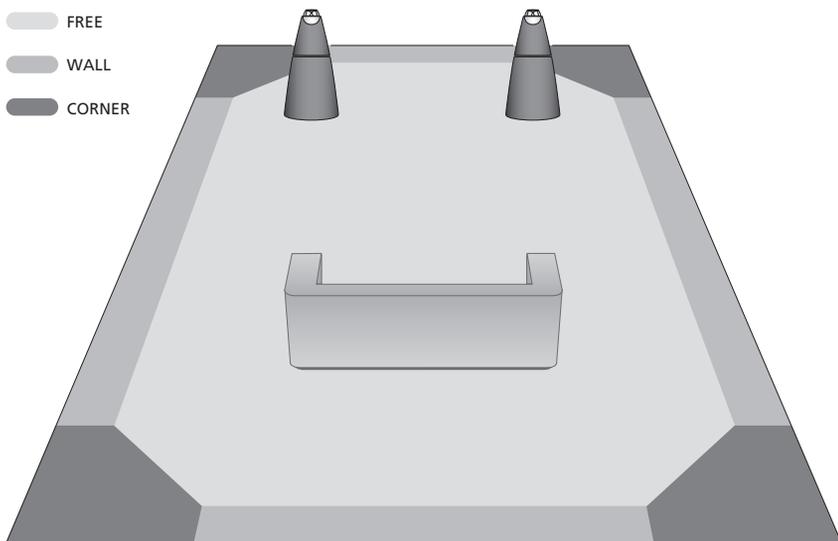
### WALL

スピーカーが壁から 20cm 以内にあり、コーナーから 65cm 以上離れている場合は、WALL にセットします。次ページのイラストで、灰色に塗られた部分がこれに該当します。

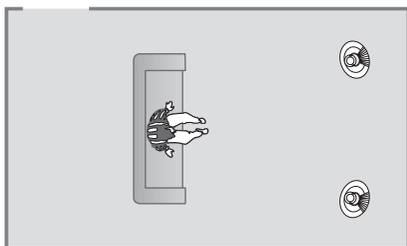
### CORNER

部屋の隅にスピーカーを置く場合は、CORNER にセットします。次ページのイラストで、濃い灰色に塗られた部分がこれに該当します。

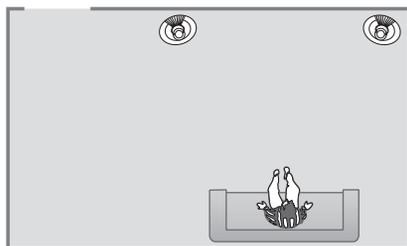
FREE  
WALL  
CORNER



スイッチ設定の目安: FREE-WALL-CORNER の3種のスイッチ設定が、灰色の濃淡で塗り分けられた3つの設置場所に対応しています。このイラストと下に挙げた各例は、あくまでも目安であり、最も気に入ったサウンドが聞ける位置にスイッチをセットしても、まったくかまいません。



例1: 2本のスピーカーが部屋の片側に置かれていますが、後方の壁にも左右の壁にも近接していません。スピーカーのスイッチは、2本ともFREE にセットします。

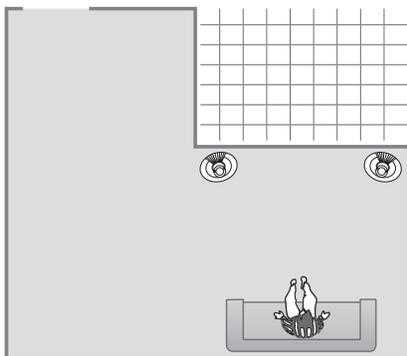


例2: 左スピーカーが壁の直前に、右がコーナーに置かれています。従って、左スピーカーはWALL に、右はCORNER にセットします。

#### BeoLab 2 サブウーファーと組み合わせると……

BeoLab 2の取扱説明書で説明されている通り、このサブウーファーも、組み合わせるスピーカーの感度や設置場所に応じて、低音レベルを1、2、3の3段階に設定できます。

BeoLab 9スピーカーと組み合わせる場合は、BeoLab 2 SETUPスイッチを、1にセットすることをお勧めします。



例3: ここでも、左スピーカーが壁の直前に、右がコーナーに置かれています。しかし、この部屋の形状が、スイッチの設定に影響を与えることはありません。従って、左スピーカーはWALL に、右はCORNER にセットします。



### WEEE 指令と環境保護対策について

WEEE とは、「電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会および理事会指令」の略です。この指令の目的は、電子機器および電子部品からの廃棄物を減らし、このような廃棄物の再利用とリサイクルを促進させることにあります。当然、メーカーだけでなく、販売業者や消費者もこの指令の対象となります。

WEEE 指令は、製造者と消費者の双方に対し、電気器具と電子機器、そして関連する部品を、環境に安全な方法で処理することを求めています。廃棄物は再利用され、その原料はエネルギー源として再処理されていきます。

電子機器および電子部品を、通常の家ごみと一緒に処理することは禁じられています。すべての電子機器および電子部品は、別途収集され、処理されなければいけません。

再利用、リサイクル、再生処理されるべき製品と部品には、左に示したマークが付けられています。

お客様の国で採用されている回収システムに従い、電気器具や電子機器を処分することは、環境と人類の健康を保護し、自然資源の有効活用に貢献することを意味します。また、電気器具や電子機器を一般の廃棄物とは別に回収すると、電気器具や電子機器の中に残留しているかもしれない危険な物質で、環境が汚染されることも防げます。

本製品をご使用になる国での正しい処理方法については、お近くの Bang & Olufsen ストアにお問い合わせください。

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。

#### アメリカ向け特記事項

注意：本製品は、連邦通信委員会規定第15項に従って検査され、クラスBデジタル装置の制限に適合することが証明されています。この制限は、一般家庭で使う場合に起こり得る有害な干渉に対し、適正な防護措置を講じるためものです。本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえで、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信用アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路上にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

#### カナダ向け特記事項

このクラスBデジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。

 本製品は、EEU指令 89/336 および 73/23 に規定されたすべての条件を満たしています。

